

【選択】教員力の資質向上のための講習

- 期日 平成30年8月8日(水)～8月10日(金)
- 主な対象 幼稚園、小学校、中学校・高等学校保健体育教諭
- 定員 130名
- 会場 たまプラーザキャンパス
- 応募期間(仮申込) 平成30年4月16日(月)10:00～4月19日(木)23:59
- 受講料 2万円
- 時間数 18時間 【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域
- 講習内容

本講座では職種に合わせて、教育現場に沿った教員自身の人間開発を目指した講義内容を3日間提供する。講習は3つのテーマから成り立つ。(1) グローバル化する社会で成長する子どもたちへ教員に必要な知識を分かりやすく解説する (2) 運動をはじめ様々な体験不足の現代の子どもたちを元気にするための教員の資質向上を目指す (3) 現代社会に育つ子どもたちの成長を助け、支援するための知識と技術力を養う。

■時間割

	日時	時間割番号(1)	時間割番号(2)	時間割番号(3)
選 択 科 目 時 間 割	8日午前	E-1-1	E-1-2	E-1-3
	8日午後	E-2-1	※ E-2-2	E-2-3
	9日午前	※ E-3-1	E-3-2	E-3-3
	9日午後	E-4-1	※ E-4-2	E-4-3
	10日午前	E-5-1	E-5-2	E-5-3
	10日午後	E-6-1	※ E-6-2	E-6-3

仮申込時に「授業コマごとの登録」が必要です。但し、各コマの希望人数により、希望以外のコマを受講いただく場合がありますので、予めご了承ください。

授業コマは、3日間午前午後各1コマを登録してください。

※：この授業コマを1コマでも登録した場合、受講料とは別に傷害保険料(300円)が必要となります。

■担当講師

石川 清明	國學院大學人間開発学部教授	《E-1-1》
一 正孝	國學院大學人間開発学部教授	《E-1-2》
寺本 貴啓	國學院大學人間開発学部准教授	《E-1-3》
筒石 賢昭	國學院大學人間開発学部教授	《E-2-1》
大森 俊夫	國學院大學人間開発学部教授	《E-2-2》
高橋 幸子	國學院大學人間開発学部教授	《E-2-3》
笹田 弥生	國學院大學人間開発学部准教授	《E-3-1》
伊藤 英之	國學院大學人間開発学部助教	《E-3-2》
長田 恵理	國學院大學人間開発学部准教授	《E-3-3》
野本 茂夫	國學院大學人間開発学部教授	《E-4-1》
上口 孝文	國學院大學人間開発学部教授	《E-4-2》
高山 真琴	國學院大學人間開発学部教授	《E-4-3》
小林 唯	國學院大學人間開発学部助教	《E-5-1》
備前 嘉文	國學院大學人間開発学部准教授	《E-5-2》

成田 信子	國學院大學人間開発学部教授 《E-5-3》
山瀬 範子	國學院大學人間開発学部准教授 《E-6-1》
川口 愛子	國學院大學人間開発学部准教授 《E-6-2》
杉田 洋	國學院大學人間開発学部教授 《E-6-3》

■シラバス

E-1-1

講義名	乳幼児期の言語獲得過程と保育者の援助
担当講師	石川 清明
講義概要	<p>乳幼児期の発達はめざましいものがあり、歩行の開始と並び音声言語の獲得は、その後の生活に重要な意味を持つ。その反面、言語発達の遅れ、構音障害、吃音などコミュニケーションの問題の発見もほとんどがこの時期であり、発達の過程にも個人差がみられるため保護者からの相談も多く、対応が求められる。特に幼稚園や認定こども園における同年齢集団での生活は言語獲得に大きな影響を与え得ると言える。</p> <p>そこで、言語獲得の過程と獲得の条件に関する基本的事項について発達全般を視野に入れて理解を深め、日々の保育において望ましい言語獲得環境をどのように整え、どのように援助したら良いのかを演習形式を含めて学ぶ。</p>
評価方法	講義で触れた内容の基本的事項について筆記試験を行う。

E-1-2

講義名	スポーツ科学の多様性
担当講師	一 正孝
講義概要	<p>スポーツ科学とは、スポーツという固有の広範囲な文化領域を、自然科学・人文科学・社会学の方法論を様々に駆使して問題解明を行う総合科学でもある。スポーツ科学が現代人にとって欠くべからざる存在になるにつれ、スポーツ科学は一層発展し専門・分化するようになった。</p> <p>講義では、スポーツ科学のこれまでと、これからについて取り上げる予定である。スポーツ科学の問題点に関して把握し、学校現場でどのように取り上げていったらいいのか情報交換し、課題を明確にしていきたい。</p>
評価方法	レポート提出

E-1-3

講義名	新学習指導要領を見据えた新しい理科授業の考え方
担当講師	寺本 貴啓
講義概要	<p>新学習指導要領は、「資質・能力」「見方・考え方」「主体的・対話的で深い学び」など、たくさんの新しい言葉が使われています。では、これからの理科は、これまでとどう違い、どのように変わるのか概説します。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査においても、理科で求められる課題がいくつか明らかになっています。そこで、これからの授業で教師が何に留意して指導して行く必要があるのかについても解説し、体験も含め理解を深めていきます。</p> <p>【実施予定内容】</p>

	1. 「資質・能力」「見方・考え方」「主体的・対話的で深い学び」と理科 2. 新学習指導要領の理科 3. 現在の理科の課題の具体 4. 実習
評価方法	テスト（講義内容について、確認するテストを行う。）

E-2-1

講義名	わらべうたから始める伝統的な音楽教育 -歌と楽器（誰でも吹ける尺八の基礎）の総合学習-
担当講師	筒石 賢昭
講義概要	<p>音楽科における日本伝統音楽の重要性がますます高まっている。これは国際化の進展とともに自国の文化や伝統の見直しが問われていることが背景にある。</p> <p>この講義では、前半に日本の伝統音楽の原点として様々なわらべうたを学び、わらべうたを通じた音楽教育のあり方を追求する。後半は伝統楽器尺八にチャレンジする。一般に尺八は音を出すのが難しいと言われているが、この講義では新しく開発したメソッドにより、誰もが吹ける尺八の授業を目指す。</p>
評価方法	実技 40%講義内容に関わる論述試験 60%

E-2-2

講義名	陸上競技 ハードルの指導法
担当講師	大森 俊夫
講義概要	<p>① 基礎的な走力向上の指導 接地方法、腿上げ、腕振りなどの基本動作</p> <p>②ハードルに必要な柔軟性向上の指導 股関節の柔軟性、リズムカルな動きの習得</p> <p>③ミニハードルによる基本動作の指導 ライン取り、ジャンプ力、バランス力の習得</p> <p>④振り上げ足の練習 振り上げ足の向き、振り上げ角度などの習得</p> <p>⑤抜き足の練習 柔軟性と抜き足の関係、抜き足の接地の習得</p> <p>⑥3歩のインターバルでの練習 跳びやすいインターバルでのフォームチェック</p> <p>⑦スタートから1台目までの走り方の指導 1台目のハードルの踏切が合うことの重要性の理解</p> <p>⑧ハードル間の走り方の指導 2台目以降のハードルの踏切が合うための練習</p> <p>⑨総合練習 各自が跳びやすいインターバルでの通し練習</p>

評価方法	<p>実技試験を下記の観点から総合的に評価する</p> <p>①スタートから1台目のハードルがリズム良く跳んでいるか</p> <p>②各インターバルがスムーズに走れているか</p> <p>③ハードルをバランスよく跳んでいるか</p> <p>④振り上げ足、抜き足が正しく行われているか</p>
------	---

E-2-3

講義名	子どもの思いによりそう特別支援教育～最適な支援のためにできること～
担当講師	高橋 幸子
講義概要	<p>我が国においても、2014年国連の「障害者権利条約」の批准し、教育現場においては共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の実現がめざされ、特別支援教育の充実がさらに求められています。</p> <p>障害のあるなしに関わらず、個別の教育的ニーズを有するすべての幼児児童生徒に対し最適な支援を行うために、私たち教員が大切にしなければならないことは何か、「連続性のある多様な学びの場」の実現のために必要なことは何か、本講習を通して一緒に考えてみませんか。</p> <p>具体的には下記の内容を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達障害の理解と支援—最新の知見から ○新学習指導要領から考える今後の特別支援教育 ○合理的配慮の観点から検討する「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」 ○インクルーシブな授業づくりのための視点と工夫 ○教育実践上の現状と課題についての意見交換（ケース検討含む）
評価方法	受講者の人数や属性に応じて、講義だけでなく疑似体験、グループワークなどを行う予定です。個人情報に配慮して具体的な事例についての検討や情報交換なども行いたいと思います。

E-3-1

講義名	幼児期の運動遊びの必要性和、小学校体づくり・器械運動へ
担当講師	笹田 弥生
講義概要	近年の子どもの「動きのおかしさ」を考慮し、毎日を元気に生活するにはどんな体づくりをしたら良いのか。幼児期の運動遊びの重要性和小学校体育へのつながりを考える。特に小3から始まる器械運動では、器械・器具を使った運動遊びが重要になる。そのもとは、幼児期の遊具での運動遊びがある。ブランコ・滑り台・ジャングルジム等の体験はどんな体づくりにつながっていくのか、身体を実際に動かしながら考えてみる。
評価方法	参加点及び筆記テスト

E-3-2

講義名	運動指導の心理学
担当講師	伊藤 英之

講義概要	<p>体育実技の授業や運動部活動の指導に活かせる、スポーツ心理学の理論と具体的な実践方法を解説します。</p> <p>具体的には、以下のような内容を扱います。</p> <p>①運動が上達するメカニズム（運動学習理論）</p> <p>②やる気を出させるメカニズム（動機づけ理論）</p> <p>③競技力向上と実力発揮のメカニズム（メンタルトレーニング）</p> <p>運動学習理論では、運動が上達するメカニズムや上達の個人差・課題差を解説するとともに、運動の上達を阻害する要因も理解してもらいます。</p> <p>動機づけ理論では、人がやる気を出すメカニズムを解説し、やる気を出させる声かけや工夫などの具体的なアプローチ方法を理解してもらいます。</p> <p>メンタルトレーニングでは、中高生の部活動で活用できるメンタルトレーニングの理論や技法を解説し、実際に体験してもらいます。</p>
評価方法	講義の内容に基づく筆記試験により、その理解度を評価します。

E-3-3

講義名	小学校3年生からの外国語学習—変わることと変わらないこと
担当講師	長田 恵理
講義概要	<p>新しい学習指導要領に基づき、3, 4年生は外国語活動、5, 6年生では外国語科が始まる。開始学年が変わり、観点も新しくなった小学校での外国語学習で、何が変わり、何が変わらないのかを検討する。具体的には、学習指導要領解説、言語習得理論、外国語指導法を概観したのち、移行用教材『We can!』、『Let's try!』の指導案をもとに、冊子や電子教材、ワークシートを用いた活動を実際に教師役・児童役になって体験する。</p>
評価方法	成績は、筆記試験の成績(50%)と講座での積極的な参画(50%)を総合的に判断して評価する。

E-4-1

講義名	対話を通して深める保育臨床相談
担当講師	野本 茂夫
講義概要	<p>幼稚園、認定こども園では、子どもと保護者、そして保育者を巡る問題や課題が多様化、複雑化、深刻化してきています。そして、保育者はこの問題や課題に取り組んでいくことが使命です。ところが、保育者一人の力で奮闘努力するだけではなかなか対応策が見つからない問題や課題に数多く出会います。また、問題の大きさに直面し、保育者として無力感に陥ってしまうこともしばしばです。そこで、このような保育現場の臨床的な問題や課題の解決を目指して、保育者や関係者が対話し相談し、子ども理解や保護者理解を深化させ保育で協働しながら、創造的に保育の問題や課題に取り組み改善していく保育のあり方を考えていきます。そして、講義の後半では、実際に対話の時間を設けて保育を深める体験をってもらう計画です。</p>

評価方法	<p><評価基準></p> <p>以下のように評価基準を定め、100点満点で評価し、60点以上を合格とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験 80点 ・ 受講と対話への参加度 20点
------	---

E-4-2

講義名	安全な柔道の指導法
担当講師	上口 孝文
講義概要	<p>学習指導要領によれば、柔道の授業は「基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動」であるとし、中学校では、基本動作と基本となる技を身に付け、それらの動作と技を用いて、相手の動きの変化に対応した攻防ができることをねらいとして、1, 2学年では基本動作や基本となる技の習得、3学年では、「得意技を身に付け」相手の動きの変化に応じた攻防を展開できることを求めている。高等学校では、これまでの学習を踏まえて、「得意技を用いた攻防が展開できるようにする」ことが求められている。この授業では、基本的な技、得意技の習得から勝敗を競い合うまでの指導過程で、受傷事故を発生させない指導方法のなかで、特に取、受の事故を未然に防ぐための適切な動作について検討しながら授業を展開する。</p>
評価方法	テストで評価する

E-4-3

講義名	音楽を学ぶ 音楽で学ぶ
担当講師	高山 真琴
講義概要	<p>平成29年3月に告知された新学習指導要領では、育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で再整理しています。</p> <p>本講義では、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の活動、および、本時の活動に入る前に行いたい常時活動等を実際に体験しながら、教科・音楽だからこそ育むことができる児童の資質・能力について、また、音楽科の存在意義について一緒に考えていきたいと思えます。</p> <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常時活動 2. 打楽器アンサンブルを作ろう (器楽&音楽づくりの試み) 3. 能動的鑑賞法 (共通事項で焦点化) 4. ハーモナイズの楽しみ (よく聴き、よく歌う) <p>本講義を通しての教科・音楽への理解が、先生方の教育活動に反映されることを心から願っています。</p>
評価方法	<p>記述式の試験を行い評価します。</p> <p>服装について：身体表現活動も行いますので、動きやすい服装でおいで下さい。</p>

E-5-1

講義名	成長期に必要な栄養素と食育の重要性
担当講師	小林 唯
講義概要	<p>子どもたちの抱える食の問題の背景には、保護者や生活習慣、地域環境が大きく影響していると言われています。そのため、保育者や教育従事者が栄養について正しく理解し、保護者と連携して食育を進めることが、子どもたちの食環境を改善するために重要です。</p> <p>本講義では、効果的な食育を行うための知識を身につけることを目的として、成長期に必要な栄養素や健康的な食生活について成長段階ごとに解説します。</p>
評価方法	講義に基づく筆記試験によって行う。

E-5-2

講義名	学校と地域スポーツクラブの連携について
担当講師	備前 嘉文
講義概要	<p>近年、学校の部活動を巡っては、教員の負担増や体罰問題など多くの問題が生じている。そのような問題を解決するために、外部指導者の導入や休養日の設定、地域スポーツクラブとの連携が検討されている。本講義では、下記の内容にもとづき学校部活動と地域スポーツクラブの連携について検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の体育・スポーツ界を取り巻く環境 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校と企業によるスポーツ振興 (2) 1990年代後半から今日にかけての変化 (3) 地域スポーツクラブによるスポーツ振興 2. 学校と地域スポーツクラブの連携 <ol style="list-style-type: none"> (1) 体育とスポーツ (2) 部活動が果たす役割 (3) 地域スポーツクラブが果たす役割 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域スポーツクラブが抱える問題 2) 教員の地域スポーツクラブに対する意識 3) 学校と地域スポーツクラブの望ましい連携とは 3. 体育・スポーツのあるべき姿とは
評価方法	講義内容に基づいた筆記および口述試験を実施し、理解度を測定し評価を行う。

E-5-3

講義名	学びの意欲を引き出す国語科授業づくり
担当講師	成田 信子

講義概要	<p>平成 29 年 3 月公示の学習指導要領では、資質・能力の育成が今までにも増して重要視されています。国語科においては、従来の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域は、資質・能力の「思考力・判断力・表現力」に位置付けられることになりました。授業づくりでは、国語科の指導事項と資質・能力の関係をどのようにとらえて立案をすればよいのでしょうか。教師が子どもたちの学びをみてとり、大きな枠組みのなかでとらえることが求められます。</p> <p>本講義では、文学的な文章を教材として、子どもの学びを中心にといった立案を考えます。子どもの学びとは、子どもの現状、子どもに付けたい力、学びに向かう姿勢などを包含しています。これら子どもの学びと教材をつないで教材研究をし、授業のねらいや流れ、主発問、言語活動を導いていきましょう。講義のなかにグループワークを取り入れ、相互交流的な学びの手法によって授業づくりを行います。学級や学校の子どもたちの具体的な姿を互いに交流し、教師の教授行動の意味を問いながら、子どもたちの意欲を引き出し明日を切り開く授業を考えていきましょう。</p>
評価方法	<p>1 講義内容についての振り返りテスト</p> <p>2 グループワークの参加・学びの記述</p>

E-6-1

講義名	学校と家庭のパートナーシップの中で子どもを育む～家庭環境の変化を踏まえて～
担当講師	山瀬 範子
講義概要	<p>本講義では、家族像の変化と現代家族の問題と課題について概説した上で、社会との連携及び協働を通して子どもたちを育むために、教師と保護者のかかわりや子育て家庭への支援の在り方について考えることを目的とする。</p> <p>「子どもが育てにくい社会になった」「家族が変わった」「家族が子どもを育てることができなくなっている」等、家庭の養育力の低下について論じられるようになって久しい。「変わった」といわれる家族の姿が、そもそも、どんな形として捉えてきたのか、「低下」したといわれる「養育力」の中身は何を指しているのか、議論の基礎となる家族の姿、養育力について、まずは、概説し、その上で、現代家族の持つ問題点や課題となることを整理する。</p> <p>これらの議論に基づいて、教師と保護者の関わりや子育て家庭への支援について考えていきたい。</p>
評価方法	講義の終わりに講義内容にもとづく筆記試験を行います。

E-6-2

講義名	初心者向けダンス指導法
担当講師	川口 愛子

講義概要	「初心者向けダンス指導法」を実技を通して学んでいただきたいと思いますと考えています。受講生は音楽に合わせて、心身を開放し踊ってみましょう。個の動きの楽しさ、一緒に踊る楽しさを体感してください。ウォーミングアップ・創作ダンス・フォークダンス等を取り入れながら、言葉かけ、創作方法、評価方法について理解を深めましょう。筆記用具、素足（靴を希望する方は軽く、柔らかいもの）、動きやすい服装の準備をお願いします。
評価方法	実技の取り組み内容と提出物を含めて評価する。

E-6-3

講義名	学級経営と新学習指導要領における特別活動の理論と方法
担当講師	杉田 洋
講義概要	新しい小学校学習指導要領特別活動編が告示され平成30年度より移行措置がとられることを踏まえ、目標や内容、内容の取り扱いなど改訂の要点について解説する。特に、今般の改定で特に重視されることになった学級経営との関わりと自治的な話し合い活動の充実を取り上げる。また、キャリア教育との関わり、道徳教育との関連などについても解説する。さらには、TOKKATSUが海外から高い関心が示されていることを踏まえ、日本式人間教育としての役割について改めて確認する。
評価方法	講義の終わりに講義内容に沿ったレポートを書いていただきます。